

都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査結果について

1 結果

【都民のスポーツ活動】

- スポーツ実施率**（週1回以上スポーツを実施した人の割合）は**57.2%**〔する〕
（前回調査から**0.9ポイント増**） **概要P6**
- この1年間に実際にスポーツを観戦した人は**41.1%**〔みる〕
（前回調査から**1.8ポイント増**） **概要P8**
- この1年間にスポーツを支える活動に関わった人は**14.6%**〔支える〕
（前回調査から**1.5ポイント増**） **概要P13**
- ラグビーワールドカップ2019™**が日本で開催されることを知っている人は**65.5%**
（前回調査から**10.2ポイント増**） **概要P16**

【障害者スポーツ・パラリンピック】

- 障害者スポーツに関心がある人は**59.2%**（前年調査から**2.1ポイント増**） **概要P19**
- 障害者スポーツに関心がない理由 **概要P20**
 - ・身近に関わっている人がいないから（前年調査から**10ポイント↓**）
 - ・どんな競技があるか知らないから（前年調査から**5.3ポイント↓**）
 - ・身近な場所でやっていないから（前年調査から**9.4ポイント↓**）
- パラリンピックの認知度**96.4%**（前年調査から**2.6ポイント増**） **概要P21**
- この1年間に障害者スポーツやパラリンピック競技を観戦または見た経験の有無
「観戦または見たことがある」**54%**（前年調査から**3ポイント↓**） **概要P25**
- パラリンピックの観戦意向**75.8%**（前年調査と同様） **概要P27**
 - 都民の約8割は、パラリンピック大会に興味・関心があり、その高まりを会場観戦につなげられるよう観戦促進の取組を拡充していく。

※「概要」は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（概要）」

2 世論調査の概要

- 調査目的：東京都スポーツ推進総合計画に掲げた達成指標の進捗や、東京2020パラリンピック競技大会や障害者スポーツの認知度等を把握し、今後の基礎資料とする。
- 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- 有効回収標本数：1,818標本／3,000標本（60.6%）
- 調査方法：調査員による個別訪問面接聴取法
- 調査期間：平成30年9月7日～平成30年9月23日
- 公表日：平成31年2月5日